



2022ジュニア全日本自転車競技選手権大会 ロードレース 大会特別規則(競技運営確認事項)

競技委員長	中梶 秀則
総務委員長	坂井田米治
審判長	河田 拓也

2022年(公財)日本自転車競技連盟および大会特別規則で実施する。

1. パネルメンバー

河田 拓也 待田 浩一 藤田 将史 是永 一

2. コミュニケ

- (1) スタートリスト、リザルト等のコミュニケは競技結果速報版に掲示するので、配布はしない。
- (2) コミュニケは、JCFHP及びTwitterにより随時発行する。

3. ライセンスコントロール

日時: 2022年6月25日(土) 14:00~15:00

場所: 南丹市美山文化ホール会議室1・2・3

提出物

- (1) 競技者登録証(ライセンス) **<登録証不携帯は7,000円のペナルティーを科す。>**
- (2) 使用するチームジャージ **<違反は7,000円のペナルティーを科す。>**

配布物

- (1) IDカード

選手・監督(各都道府県代表者)・コーチ(各チーム代表者)

- (2) プログラム

各チーム代表者1部+選手数分

- (3) ゼッケン[2枚]・フレームプレート[1枚]

【男子ジュニア】 白地に黒文字 (No.1~No.135)

【男子U17】 白地に黒文字 (No.201~No.287)

【男子U15】 白地に黒文字 (No.301~No.322)

【女子ジュニア】 ピンク地に黒文字 (No.1~No.19)

【女子U17】 ピンク地に黒文字 (No.51~No.61)

※ なお、装着に使用する安全ピン、結束バンド等は各自で準備してください。

- (4) 計測チップ

自動計測装置を使用するので、競技者は自転車の前フォーク所定箇所に計測チップを装着すること。

4. 監督会議

日時: 2022年6月25日(土) 15:00~15:30

場所: 南丹市美山文化ホール会議室1・2・3

※ 監督会議への出席は、各都道府県連盟代表者(監督)1名とする。

※ 監督はライセンス保持者とする。(JCFチームアテンダント・審判員、日本スポーツ協会公認コーチ)

5. ヘルメット

選手はJCF公認及びJKA認定(競輪用)ヘルメットを練習時も使用すること。公認シールが貼付されていないヘルメット、劣化・破損が確認されるヘルメット等の使用は認めない。

顎ひもが緩んでいる状態での使用は認めない。(装着時に顎と顎ひもの間隔は指2本程度)

6. ユニフォーム(ジャージ・パンツ)

申込時のチーム名ジャージのみ許可する。(JCF, 高体連, 学連, 実業団に登録されたジャージ)
U15選手においては、受付時に総務委員長へ届け出ること。

7. 装備

競技中に使用する靴下とオーバーシューズの長さは、踵(かかと)の中心と、腓骨(ひこつ)頭中心の距離の長さの半分を超えてはならない。

8. 自転車検車・計測チップ動作確認

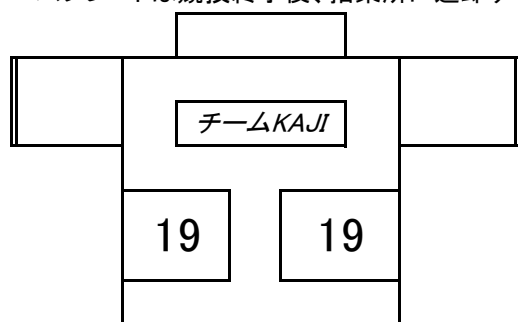
- (1) 日 時: 2022年6月26日(日) 7:15～ 各スタート15分前まで
- (2) 場 所: 招集テント
- (3) 感染症拡大防止の観点から、スタート・シートへの署名は行わない。
- (4) スタート前に招集所において自動計測チップの作動確認を行うこと。
作動確認をしていない選手は競技に参加することができない。
- (5) レース終了後、直ちに招集所まで返却のこと。計測チップの紛失、故意に破損した場合は実費請求する。

9. 映像記録装置

- (1) カメラの自転車への搭載は個人情報保護の観点から禁止する。

10. ゼッケン

- (1) ロードレース 【男子】 白地に黒色数字 : 【女子】 ピンク地に黒色数字
- (2) ゼッケンは折曲げたり、切ったりしてはならない。
- (3) ボディー・ナンバーは下図を参考にし、2枚を5cm以上間隔を空けて取り付ける。
- (4) フレームプレートはヘッドチューブ右側またはサドル下に装着する。
- (5) フレームプレートは競技終了後、招集所に返却すること。



11. ギヤ比制限(ロードレース)

- (1) (公財)日本自転車競技連盟競技規則第28条1(1)に準ずる。
【注意事項】 リヤディレイラの調整によりギヤ比の設定を行う場合においても、調整ミスが無いようにすること。
完走後のギヤ比チェックで制限を超えた場合は、如何なる場合も失格となる。
- (2) ギヤ比チェックはフィニッシュ後に行う。場所はフィニッシュ地点を通過後約100m前方左側の歩道。

12. スタート時刻

女子ジュニア, 女子U17	8:00～ (10.3km×3周)
男子U17, U15	9:10～ (10.3km×5周)
男子ジュニア	10:40～ (10.3km×8周)

13. スタート位置

(1) 【男子ジュニア】

↑	↑	↑	↑	↑	↑
令和3年度全国高校総体大会ロードレース8位入賞者					
令和3年度全国高校選抜大会ロードレース8位入賞者					
以下、先着順					

(2) 【男子U17,U15】

↑	↑	↑	↑	↑	↑
令和3年度全国高校総体大会ロードレース8位入賞者					
令和3年度全国高校選抜大会ロードレース8位入賞者					
以下、先着順					
U15 先着順					

(3) 【女子】

↑	↑	↑	↑	↑	↑
令和3年度全国高校総体大会ロードレース8位入賞者(ジュニア)					
令和3年度全国高校選抜大会ロードレース8位入賞者(ジュニア)					
以下、先着順					
令和3年度全国高校総体大会ロードレース8位入賞者(U17)					
令和3年度全国高校選抜大会ロードレース8位入賞者(U17)					
以下、先着順					

【男子ジュニア1列目対象者】

藤村 一磨(宮崎県)、松井 丈治(大阪府)、田村 一輝(広島県)、小泉 響貴(埼玉県)

【男子ジュニア2列目対象者】

阿部 源(愛媛県)、杉野 翔一(鹿児島県)、梅澤 幹太(愛媛県)、柚木 伸元(三重県)

犬伏 輝斗(奈良県)、鎌田 晃輝(愛媛県)、長島 慧明(京都府)

【男子U17、U15】

対象者なし

【女子ジュニア1列目対象者】

大蔵 こころ(長野県)、石上 琴乃(神奈川県)、岡本 美咲(京都府)、三澤 あゆみ(宮城県)

石田 明梨(京都府)

【女子ジュニア2列目対象者】

水谷 彩奈(愛媛県)、平子 結菜(三重県)

【女子U171列目対象者】

日吉 愛華(岐阜県)

14. 補給所

(1) 補給所はチーム補給所に限定する。(コース図参照)

(2) 補給は男子ジュニアのみ周回数5・6・7回に行う事が出来る。

(3) 飲食物補給員 <以下の項目に違反した場合は7,000円(1人)のペナルティーを科す。>

補給は補給員カード所持者のみとする。

補給員は次のライセンス保持者とする。(選手が補給することは認めない)

JCFチームアテンダント・審判員、日本スポーツ協会公認コーチ

監督は補給員のライセンスカードを取りまとめ監督会議時に提示し補給員カードを申請する。

補給に際しては他のチームスタッフとのソーシャルディスタンス確保を厳守すること。

15. グリーンゾーン

- (1) 空ボトル等は「チーム補給所」の付近に設置された「廃棄ゾーン」に投棄すること。
- (2) 競技規則第95条5項を順守し、コース内へのごみ、ボトルの投棄は厳禁とする。

なお、これに違反した場合は、7,000円のペナルティーを科す。

16. 関門所

- (1) 第1関門、第2関門、第3関門を設置する。
- (2) タイムアウト
6位選手を含む集団通過後2分とする。
- (3) 関門所以外でも移動審判員の判断で競走から除外する場合がある。(特に熱中症の疑い時)
- (4) 競走から除外された選手は、ボディナンバー1枚、計測チップを外し、競技役員に渡すこと。

17. 機材サポートとインフォメーション

- (1) ニュートラルカー、ニュートラルバイク、ブラックボード(BB)バイクを主催者で準備する。
- (2) ディスクブレーキ対応のホイールの規格は次の通り
フラットマウント式 12mmスルーアクスル リアエンド幅:142mm
ローター径:フロント160mm, リア140mm
- (3) リアホイールはシマノ11速のみ用意している。
- (4) 提供を受けた機材は、招集・自転車検車所へフィニッシュ後直ちに返却し、各自の車輪と交換すること。
- (5) 救急搬送、火事等の災害が発生した場合は、ニュートラル、一時中断、中止等の処置を行うことがある。

18. 表彰式

場所: 南丹市美山支所正面玄関前。

集合: フィニッシュ後、速やかに行う。1位から3位の選手は正面玄関付近に待機すること。

服装: 登録されたジャージとする。

表彰: 第1位にチャンピオンジャージ・メダル・賞状、第2・3位にメダル・賞状を授与する。

なお、第1位の選手はナショナル・チャンピオンジャージに関するUCI、JCFの諸規則、ガイドライン等を遵守する旨、誓約書に署名をおこなうものとする。

19. その他

- (1) 大会期間中は、IDカードの着用を義務付ける。
- (2) コースの下見について
コースの下見を行う場合は、常に交通規制を遵守するとともにヘルメットの着用を義務付ける。
地元警察署より交通規則を遵守するよう厳しく指導されていますので、監督・コーチは責任を持って選手に指導すること。また、下見中の事故等は当事者同士で解決すること。選手間の接触・落車等による機材の破損についても、レース中の事故と同じ扱いとする。
- (3) 下見中、レース中のゴミの投げ捨ては厳禁とする。地域住民の方に迷惑がかからないよう出たゴミは必ず持ち帰ること。
- (4) 会場内は全面禁煙とする。
- (5) 駐車場は指定されたところを使用すること(会場全体図は後日連絡します)。駐車場所は各種団体の所有者の方からからお借りしている施設であり使用については注意すること。またゴミは必ず持ち帰ること。指定以外の場所に駐車すると迷惑がかかりますので勝手に駐車しない事。駐車場内も全面禁煙とする。
なお、指定以外の場所に駐車したり、ゴミの放置など違反行為があった場合は、競技運営を尊重しないとしてチーム代表者に相応のペナルティーを科す。

【救急体制】

1.救護本部／First aid station headquarter

南丹市美山支所前S／F地点脇の大会本部テント横に救護本部を設け消防署関係者が待機する。また、レース随同行の救護車状況などをレースディレクターから情報を得てレース全体の状況を把握する。

これとは別に看護師2名が待機する救護所を設け、フィニッシュ後の負傷した選手や会場内の負傷者の処置、場合によっては病院への搬送の手配を行う。

2.救護車両体制／First aid vehicles

レース車列内ヘドクターカー、アンビランス(明治国際医療大学所有)、選手収容車を随行させ、負傷者の処置や病院への搬送にあたる。ドクターカーへは医師、救急救命士見習い(明治国際医療大学)を乗車させAED・必要医療品等を準備する。アンビランスは明治国際医療大学の救急救命士が乗車する。

3.事故・負傷者発生時について／In a case of accident

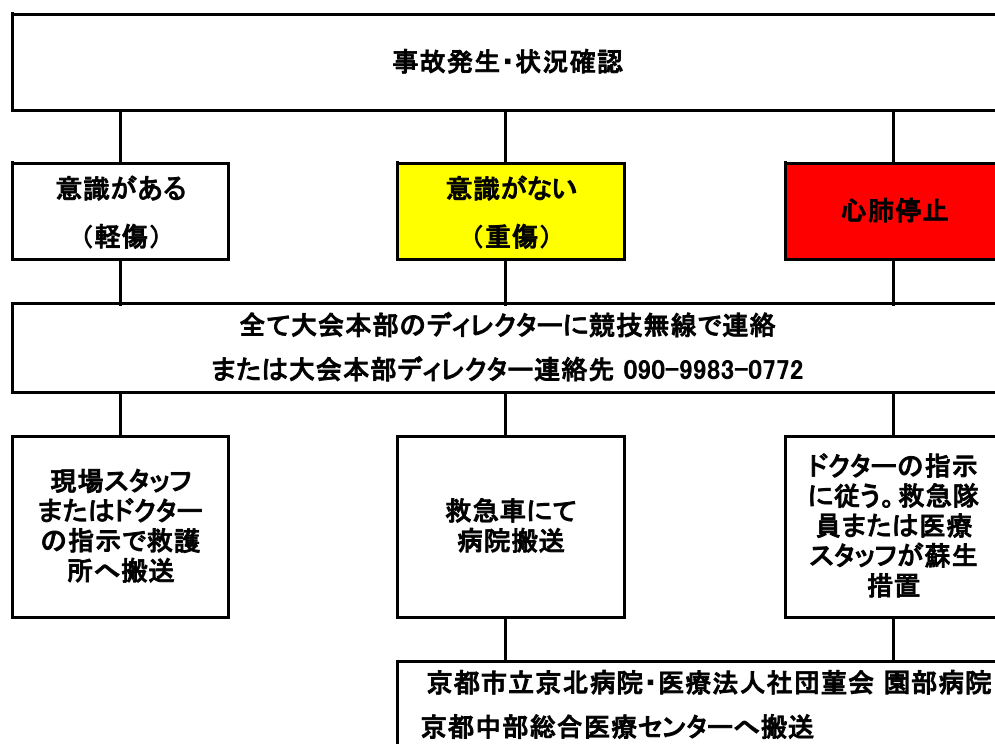
事故、負傷者発生の一報を受け現場に(ドクターカー・アンビランス)が駆けつけ現場の競技役員・立哨員(今回は明治国際医療大学の学生)と連携し、必要な処置を行う。レース中においてはドクターカー乗車の医師が救急処置を行い、緊急の場合は救急車を要請する。要請はドクターカーのドライバーが無線で大会本部のディレクターに連絡をとり、ディレクターから救護本部に要請する。事故・負傷者の発生情報は常に大会本部に連絡を入れ情報共有を図る。重大事故発生時については、救護本部・警察・消防・救急病院と連絡を取り搬送などの処置をする。

また、場合によってはレースを中断することもある。その場合、レースはニュートラルの状態とする。

4.競技負傷者への対応／Treatment to injured competitors

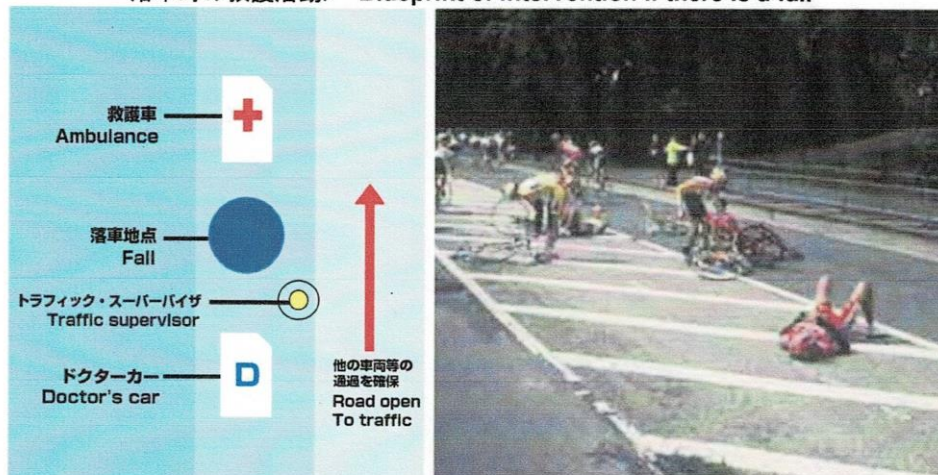
競技者に対し医師が治療処置を行った場合でも担当医の判断でレース復帰可能とする。なお、救護所または病院搬送の場合、負傷状況に応じて(アンビランス・選手収容車)で役割分担を図る。

【病院への搬送手順】



【資料1】

落車時の救護活動／ Blueprint of intervention if there is a fall



大会またはレース監督車の直近のドクターカーは、落車地点後方(手前側)の路側に停車する。

The doctor's car, which is close to the event or race manager's vehicle, stops behind the place of the fall on the side of the road

医師は可及的速やかに車外に出る。

The doctor gets out of the vehicle as soon as possible

ドライバーは医師を助け、指示に取り掛かるために、落車地点方向に歩く。

The driver walks towards the place of the fall to help the doctor and take instructions

- 救護車の無線呼出し
Radio call to an ambulance,
- 大会監督の呼出し
Call to the event manager,
- 緊急サービスの呼出し(救急医療サービス機関、消防署等)
Call to an emergency service (S.A.M.U., fire-fighters,...)

あるいはレース車両の通過を助ける。

Or to assist race vehicles to pass

救護車はレースが中断していない場合には、交通を妨害しないように気をつけながら搬送すべき競技者近くの落車地点の前方で停車する。

The ambulance will stop ahead of the fall, close to the rider to be evacuated, taking care not to block the traffic if the race is not stopped

その場のレース関係者は、落車地点が他者に侵入されることから防ぎ、医事スタッフの仕事を守る助力をしなければならない(観客と報道に距離を置くように依頼し、目隠しとして毛布を広げるなど...)

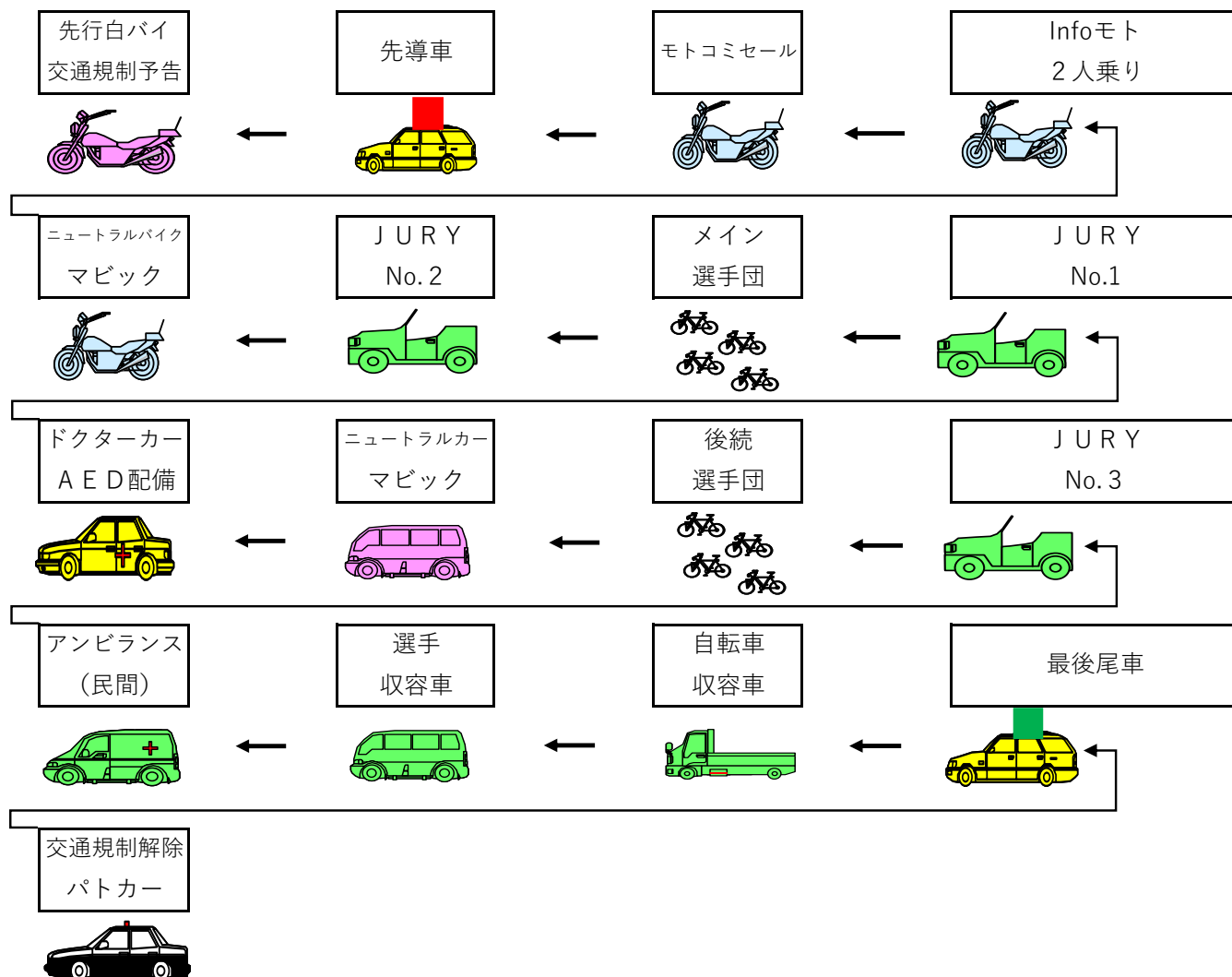
Whatever race personnel are there must assist, prevent the place of the fall from being invaded, and protect the work of the medical staff (ask the public and the press to keep at a distance, help to put up a blanket to make a screen,...)

協調的に措置できるように、レース・ラジオで交信される情報は迅速・明確・正確でなければならない。これを確かなものとするため、この件についてトラフィック・スーパーバイザの存在と任務は非常に重要である。

To intervene in a coordinated way, the information relayed on the Race Radio must be swift, clear and precise. To ensure this, the presence and role of the traffic supervisor is of great importance in this case.

【資料2】

ロードレース車列編成基本図



【資料3】

病院

病院名／Hospital	住所／Address	電話番号／Tel
京都市立京北病院	京都市右京区京北下中町鳥谷 3	075-854-0221
医療法人社団 董会 園部病院	京都府南丹市園部町美園町5号 8 - 7	0771-62-0515
京都中部総合医療センター	京都府南丹市八木町八木上野 2 5	0771-42-2510